城ケ丘

十日町小学校だより　令和８年 10 月 30 日　No.10

題字：６年児童



十日町小学校HPは
こちらからどうぞ！

文責：校長

おめでとう！



＜第 90 回新潟県発明工夫展＞

・日本放送協会新潟放送局長賞

２年　「ラベンダーの虫よけのれん（げんかん）」

＜第 75 回新潟県模型展＞



・ＢＳＮ新潟放送賞

６年　「思い出の雷門」

・新潟県工業技術総合研究所長賞

６年　「切り絵で描く東京修学旅行」

・新潟県教育長賞（学校賞）

十日町小学校



お見事！感動！

10月17日（土）に城ケ丘ふれあいフェスティバルが開催されました。当日、堂々と発表した子、練習の時には見せなかった口の開け方で歌った子、ぎりぎりまでステージに上がろうと葛藤していた子・・・様々な姿が見られました。

一人一人目指す目標が違います。だから、一人一人「頑張ったぞ」という尺度も違います。学校は、時にこどもに緊張感を与え、それを乗り越えようと努力する姿を支えています。こどもによっては、ストレスを抱える場面もあったかもしれません。うまくいかずに、涙を流した子もいたことでしょう。

一方、なかなかできなかった演奏がうまくできた喜びを味わった子もいました。本番ももちろん重要ですが、もしかしたら、本番に至るまでの過程に、こどもにとって、より重要なハードルがあったのではないでしょうか。

「一人一人にとって尺度が違う」というのは、このハードルの高さや台数、難易度が一人一

人違っているからなのです。つまり、目の前の姿だけではないのです。これからも「過程も大事にする」こどもであってほしいと切に願っています。

